

まちづくり委員会 担当副理事長方針

西尾 直洋

中津川青年会議所は、明るい豊かな社会の実現に向け先輩諸兄が、時代の変化に即したまちづくり運動を展開し「まちづくりに対する想い」を絶やすことなく継承してきました。だからこそ、我々はその想いを今後も継承し、この中津川や市民にとって必要とされ続ける組織であるために、青年会議所運動を通じて夢を持ち具現化する力を備え行動する必要があります。そうすることで、我々青年会議所にしかできない運動が可能になり、笑顔溢れる地域を目指すリーダーが直接このまちを変えるきっかけとなる運動を展開してまいります。

中津川市はリニア中央新幹線岐阜県駅の開業に向け、官民共にまちづくり活動を行ってまいりました。その活動は、人と人が助け合いながら活力ある地域づくりが図られてきましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に伴いその活動も難航しています。しかし、その反面オンラインツールの拡大等、生活環境の変化が著しい現在を未来に向けたチャンスと捉え、これまでにないまちづくり運動を行ってまいります。その中で、変化に対応していくためには若者を巻き込んでいくことが重要です。だからこそ、我々は、若者とまちづくりへの想いを共有し、新たな目線をもって未来のまちをイメージしたうえで、市民を導いていくことが必要です。また、まちづくり活動をしてきた方や団体と若者を繋げ、その中で若者はまちの魅力を活かすために自らで考えるプロセスを学び、想いを行動に移すことが重要です。そうすることで、行動した達成感を更なるまちづくり活動へ繋げられる人財が増え、その想いに共感した人によってまちづくりの輪が広がり、笑顔溢れる中津川になると考えます。

私は青年会議所に入会し、様々な人と出会い、様々な役職を経験する機会をいただき、常に物事の意義を考えて、行動するきっかけを与えられたからこそ、今の自分があると感じています。私は副理事長として、メンバー一人ひとりとの対話の機会を大切にし、自らが行っている活動の意義を考えていただくことで、青年会議所運動に真摯に取り組み、まちの発展に寄与できる人財へ成長していただけるよう努めてまいります。

<まちづくり委員会>

若者と共に未来のまちを想像し、若者がまちづくりに取り組む意識を一人でも多くの市民に波及させることで、まちに笑顔を増やすことのできる事業を展開していただきたい。